

第397回 昭和の森自然観察会

昭和の森のどんぐりは何種類？

平田 稚江子（千葉市）

日 時：2025年10月12日（日） 10時～12時 天気 曇り

参加者：17名（大人10名 子ども7名）

担当指導員：花島 伸美 平田 稚江子 参加指導員：8名 事務局：1名

前日の雨も上がり、曇り空の下での実施となりました。早速、集合場所で待っている間に、親子でドングリゴマやドングリ落としゲームなどで遊んでもらいました。

今回の観察会では、ドングリの木とドングリに、参加者それぞれが自由に触れ合い、楽しく活動できるように工夫しました。観察場所を市町村の森とその周辺に限定し、オリエンテーリング形式で、ドングリの木に①～⑦の番号をつけ、番号の木を探しながら散策と観察を行いました。また、各ブースにはドングリを食べる動物の絵を置き、ボードを用意しそこに拾ったドングリや葉っぱを貼る作業を参加者に行ってもらいました。また、木を巡ることで、ドングリが様々な命を支えていることを、理解してもらえたと思います。

カシワのところでは、ドングリの中からゾウムシの幼虫を発見、みんなで観察しました。「飼ってみたい」とお父さんに話している子もいました。コナラの木にいた二ホンアマガエルを手にのせて嬉しそうにしている子、クヌギのドングリをせっせと拾っている子、アラカシのドングリが可愛いと感心していたお母さん、「スダジイが食べられるとは知りませんでした」と男性、皆さん色々な形のドングリに興味津々の様子でした。

全員がすべてのブースをまわった後、マテバシイの近くに集合してもらい、今日観察した内容についてクイズを交えて振り返りました。最後にドングリ落としゲームをして終了しました。幼児が多くだったので、観察会の導入に動物の絵は良かったと思いました。



シキゾウムシの幼虫



葉っぱをペタリ



スダジイの実をたべてみた



マテバシイの葉っぱを貼る



スダジイの木の下にイノシシ

今回は応援指導員の皆様に大変お世話になりました。

この場をお借りしてお礼申し上げます。